



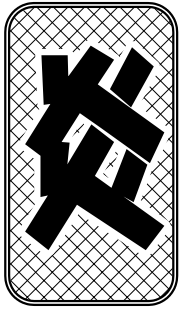
11月17日(木)午後4時から鋳物工場の炉前で藤岡神社の鈴木宮司の司式により、ふいご祭りがおごそかに執り行われました。

鞆(ふいご)は、金属の熱処理や精錬に用いる火を起こすための送風機で、鍛冶屋や鋳物師などふいごを使って仕事をする職人たちは、旧暦の11

11月17日

ふいご祭り開催

鋳物工場



由倉労組発行
発行責任者
加藤賢一
栃木県栃木市
藤岡町甲1730
TEL
050-3511-3720
FAX
0282-62-5420



月8日にふいご祭りを執り行い、安全祈願を行いました。江戸時代には、

ふいご祭りのミカンを食べると、風邪やはしかにかからないと信じられていたため、門前でミカンをまいて子どもに拾わせる習慣がありました。ふいご祭りは別名「たたら祭り」とも呼ばれます。

鈴木宮司の司式により、玉串奉奠を村上生産統括、吉谷取締役、赤羽副統括、藤沼副統括、羽生田部長、加藤従業員代表が行い、参加した鋳造課の皆さんや他部門の管理職の方々と1年間の安全祈願を行いました。

第4回失業者村もちつき大会

11月20日(日)午前11時から佐野市勤労者会館において、佐野地区労と連合わたらせ地協の共催で、第4回「失業者村」もちつき大会が開催された。



今回は、佐野市の協力により市の広報といっしょに「失業者村」のチラシ



を市内全戸に回覧するとともに、前回同様、佐野と足利のハローワークの窓口にチラシを置いてもらった。このため、市内赤見町の方から、もち米30キロを提供されるなど支援が広がっていた。

前日からの雨で当日の天気心配される中、開始直後に通り雨が降ったが、その後晴れ、予定通

北関東の3件(埼玉・群馬・栃木)では、1997年以来、ユニオンと地区労が連携して毎年春と秋の2回、共同行動として県及び労働局と行政



交渉に取り組んでいます。今年は、栃木が11月15日、群馬が11月17日、埼玉が11月18日でした。

栃木では宇都宮地区労、宇都宮市民ユニオン、佐野地区労、わたらせユニオンの4団体で実行委員会を作っており、11月15日は、総勢18人が参加して、午前10時から栃木県に要請を行い、午後1時30分から栃木労働局に要請行動を行いました。

栃木県では、窓口として産業労働観光部労働政策課の課長以下6人の方

で、元気を出してもらった。途中でギター演奏や「マリオネット」の上演などがあり、特にマリオネットは子供たちに大好評だった。

生活・労働相談会には7人が申し込み、障害のある失業者の就労相談や、まったく手持ち資金のなくなってしまう失業者が参加した。

当日は来賓として、落合佐野副市長、谷参議院議員、富岡衆議院議員、茂木衆議院議員秘書、加藤県議会議員、大川市議会副議長、寺内市議などが参加した。

の相談などがあり、長期化する失業による貧困の問題がますます深刻になっている現実を直面した。

野 新 野 下

2011年(平成23年)11月17日

餅や豚汁提供 労働相談も
20日に「失業者村」

【佐野】佐野地区労働組合会議と連合わたらせ地域協議会は、20日午前11時から、浅沼町の市勤労者会館で第4回「失業者村」もちつき大会を開く。相談つきだての餅や豚汁などを無料で振る舞う。貧困や生活保護と関係した生活相談、解雇や賃金不払いなどの労働相談も受け付ける。昨日の大会では生活相談2件、労働相談4件が寄せられた。相談後間もなく生活保護の受給が始まったケースもあったという。

当日のボランティアや資金カンパも募る。問い合わせは佐野地区労働組合会議 ☎0283・222・2633。

が私たちの要請書に対する要請を行いました。最賃については、中央放射線の内部被ばく問題や労働委員会のあつせ準との比較とは別に、試案として県の生活保護の対応を行いました。

11月15日、佐野地区労などが秋の共同行動として、県や労働局と行政交渉を行いました。

したが、後日、担当課で検討して文書回答することになっていきます。

栃木労働局では、企画室長など7人の方が対応している世帯の生活保護基準との比較や、単身者だけでなく、子どもの養育を行っている行政交渉は労働者の意見を行政に反映させるため、今後も取り組みます。

加重平均ではなく県庁所在地の生活保護基準との比較や、単身者だけでなく、子どもの養育を行っている世帯の生活保護基準との比較などについて最賃審議会を検討するよ